



ガーデンフェスタ北海道2022通信

第24号

発行日：令和4年5月30日

ガーデンフェスタ北海道2022通信【第24号】をお届けいたします。

ガーデンフェスタでは、メイン会場以外にも、【スポット会場】として、北海道内の市町村等がお勧めする花と緑のスポット20か所をご紹介します。

ぜひスポット会場も訪れてみてください。新たな発見があるかもしれません。

今回は、スポット会場の一部をご紹介します。

会場名	所在地	概要	イメージ写真
①⑥ 常磐公園 (旭川市)	旭川市常磐公園	明治43年に開園され、長く旭川の市民の心の拠り所となっている公園です。美術館や図書館などの文化教養施設が併設され、食ベマルシェなどの全市民的な催しにも利用されています。平成元年には「日本の都市公園100選」、平成9年に「旭川八景」に選ばれ、開園100年以上の時間の中で大切にされた景色を楽しめます。	
①⑦ 北邦野草園 (上川郡鷹栖町)	上川郡鷹栖町 嵐山	アイヌの人々が聖なる地として大切にしていた嵐山の麓にある野草園。30分～2時間で散策できるルート沿いには、季節ごとに咲き変わる約600種類の植物に出会うことができ、野鳥観察などの場としても親しまれています。園内には多くの北方系植物が収集・展示され、専門職員による観察会も行っています。	
①⑧ いにしえ街道 (檜山郡江差町)	檜山郡江差町 字中歌町・姥神町・津花町 一帯	歴史的な建造物や古い街並みを生かした『いにしえ街道』の延長1.1kmには、「いにしえ街道華の会」のメンバーを中心に春から秋まで折々の花で街道を彩り、風情豊かな景観づくりをしています。 木製プランターや花壇、各家庭が飾る寄植えが魅力的です。ゆったり歩いて古の街並みを楽しんでください。	
①⑨ みどりと花のセンター (帯広市)	帯広市字緑ヶ丘2番地	周囲を白樺に囲まれ、野鳥のさえずりと吹き抜ける風が心地よいガーデンです。9つのエリアには十勝の厳しい冬に耐えられる宿根草や花木が植栽されており、公園に暮らすエゾリスがひょっこりと顔を出すこともあります。カメラを片手に訪れる人、犬を連れて散策する人などが、花のうつり変わりを楽しみにガーデンを訪れています。	
②⑩ はるにれの木 (中川郡豊頃町)	中川郡豊頃町 幌岡	十勝川の河川敷に位置し、豊頃町のシンボルとなっているはるにれの木は、推定樹齢約150年を誇り、2本の木が一体化した珍しい大木です。また、春夏秋冬それぞれ違った景色に変化するため、季節を問わない観光スポットとなっております。	

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

開催の詳細情報、イベント情報は公式WEBサイトで!

「ガーデンフェスタ北海道2022」公式サイト

ガーデンフェスタ北海道 <https://garden-festa2022.jp/>



SNS
フォロー
お願いします!

※GoogleChromeでの閲覧を推奨します。